

西区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称					実施主体		
西区民の健康づくり ～子育てと健康づくりのスキルアップ事業～					西保健センター		
事業目的		事業内容		活動指標	R4	R5	R6
・父親の育児参加が多いほど、乳幼児期の発達が促されるため、父親になる方に育児に関する知識や技術の取得を促す。 ・西区の男性は市内で最も高血圧症が多いため、特に青壮年期の健康意識の向上及び高血圧予防を行い、将来的な高血圧の予防をめざす。		・妊婦面接や妊婦教室に同伴した夫・パートナーに対して、タブレットを用いて妊娠中の支援、子育てや産後うつ、高血圧予防の啓発、妊婦体験や沐浴体験を実施する。 ・各種イベントにおいて血圧測定など高血圧予防啓発を実施。（堺市立総合医療センターと連携した西区ふれあいまつりでの実施。その他関係機関と連携した青壮年層が集まる場での出張実施。） ・離乳食講習会等において、家庭の汁物の塩分濃度測定を実施する。		①夫・パートナーの妊婦教室参加者数（全参加組数）。育児協力度のアンケートについては対象者が来年度健診を受けるため来年度評価となる。			80人 （108組）
				②20～30歳代の男性の血圧測定者数（全血圧測定者）、および自身の血圧を知っている人の割合。			
①妥当性		②協働の視点		③インパクト		④効率性	
○	男性が育児参加を行うことで産後うつや虐待等のリスクが軽減される。また、青壮年期の生活習慣の乱れはその後の健康課題につながりやすいため、今後子育て世代となる青壮年期の男性を対象に啓発することは、西区の課題である高血圧症の男性の減少につながる。	○	各種地域団体と連携・協働することで、これまでアプローチが難しかった青壮年期の男性にも保健活動を実施することができた。	○	妊婦ジャケットを用いて実際に妊婦体験をすることは、妊婦の気持ちを知るうえで好評である。また、普段血圧を測定する機会の少ない20～30歳代の方の中には「こんなに高いとは思わなかった。」という驚きの声も聞かれた。	○	妊婦教室など対象となる方が集まる機会をとらえ、育児指導と同時に高血圧予防の啓発ができた。また、健康教育・啓発の機会の開拓にもつながっている。
⑤自立発展性		総合評価					
△	当該事業は、父親になる方への育児参加の促進や将来的な高血圧の予防を目的としているため、行政が主体となって実施することが重要である。	○	男性の育児参加が求められる中、妊婦面接や妊婦教室を通じて知識やスキルを指導することで、育児の担い手としての成長に寄与できた。また、これまでアプローチが難しかった青壮年期の男性に保健活動を実施することができた。これにより血圧測定・健康相談後に治療に繋がった人もみられ、対面での啓発・相談には一定の受診勧奨効果が得られた。この新しい取組を通して、保健師の地域活動とのつながりの強化、活動範囲の拡充、保健師自ら機会創出する意欲につながり、他の保健業務にも良い波及効果が出ている。				
今後の方向性（課題、改善提案等）							
拡充 継続 見直し 廃止	令和6年度新規事業であり、効果をふまえ継続実施する。 親になるというライフイベントは自身の健康を見直す絶好の機会となる。 これから育児をしていく親が、まずは健康でいることが重要となるが、血圧測定者の中には、高血圧を自覚しているにも関わらず未治療者である方もおり、さらなる勧奨が必要と考える。 また、アウトリーチによる啓発の新たに場を探り、より多くの区民へのアプローチを検討する。 男性の家事・育児への参加意欲を高め、各家庭の健全な食生活を実践すること、また青壮年期に望ましい生活習慣を継続することを目的に、夫・パートナーを対象とした料理教室『プレパパのクッキング～パパッとめしあがれ～』を実施する。						